

ほんの
いばしょ
10

今回はよん うしろ

4の後 (自然科学)

図書館の本は0から9の数字
を使って分類されているよ。詳
しくは「シカクニト！」第1回
(ごちゃっと4号)を見てね。

自然科学のなかま：自然科学(400)、
数学(410)、物理学(420)、化学(430)、
天文学・宇宙科学(440)今回はここ
から→地球科学・地学(450)、生物
科学・一般生物学(460)、植物学
(470)、動物学(480)、医学(490)

生物科学・一般生物学：植物か動物
かイマイチわからない微生物とか、あと
細胞学・遺伝学なんかはここ。

動物学：ある動物についての本や
図鑑。動物園や水族館のガイドも。

『南極がこわれる』(48)

藤原幸一／写真・文 ポプラ社
ペンギンの観察から南極の危機を訴
える。愛らしい姿から困惑の様子が
ひしひしと伝わります。

地球科学・地学：気象とか地震とか地質とか。古生
物学もここに入る。

『恐竜研究所へようこそ』(45)

林原自然科学博物館／著 童心社
モンゴル・ゴビ砂漠での恐竜発掘の様子が細かく描か
れている。研究者の探究心は、ほんとにすごい！

植物学：ある植物につい
ての本から、たくさんの種
類が載っている植物図鑑
まで。葉とか樹皮から探せ
るなど、図鑑もいろいろな
切り口があります！



医学：人の体・健康や病気などについて。

『10代のフィジカルヘルス3 ダイエット』(49)石垣ちぐさ・本間江理子／著 大月書店
多分みんなの最大の関心事、ダイエット。無理なダイエットは成長期の体に危険！なんて耳にタ
コだろうけど、一応再度、確認して！

次回は「5：技術」を紹介するよ！

本のリストをつくりました！

「怖い話」「泣ける話」「恋の話」を集め
たリストを作成しました。夏休み中の読
書の参考にぜひ！ほかにもみんなのオス
スメがあったら教えてね☺



★おしらせ★ ごちゃっと編集委員新メンバーに(む)と(mt)の2人が加入！以前からの
メンバーともども、ヨロシク！

ごちゃっと

ティーンズ広報紙 第16号

2011年7月1日発行

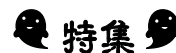
発行：名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

<http://www.library.city.nagoya.jp/>

～読書でふくらむ子どもの夢～



特集

ショート・ホラー・コレクション

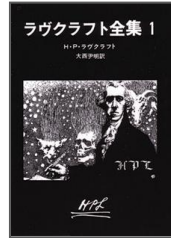
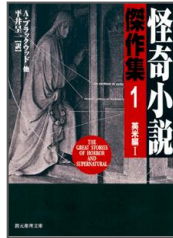
あやし おそろし



ショートホラーコレクション

短くて
怖い話

はずせない！
海外クラシック
まったく古びない
おそろべき名品



「黒猫」 ポー／作

岩波書店 『モルグ街の殺人事件』より
ペットの黒猫を殺してしまった男が、破滅へとまっしぐらに進む。純度の高い恐怖を味わえる逸品。

「炎天」 ハーヴィー／作

東京創元社 『怪奇小説傑作集 1』より
自分の墓を見た男、墓に刻まれた命日は今日…。
派手さはないけど、ジワリと汗がにじみ出てくる。

「倅の質問」 エリン／作

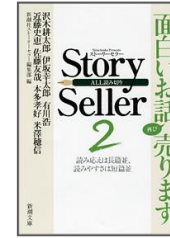
早川書房 『九時から五時までの男』より
死刑執行人を務める父に、息子が放った質問とは？
ごく普通の話にみえるが、最後の1行に戦慄する。

H・P・ラヴクラフト

多くの異形を創造し、クトゥルー神話とよばれる禍々しい世界体系を生んだホラー作家。
今なお信奉者を増やしている作品群からどれか1編だけを選ぶのは難しい。東京創元社『ラヴクラフト全集』で読むことができる。

ホラーの神髄は短編小説にアリ？ 短いながらも長く余韻の残る怖い話の数々。太字の「○○」は作品名、『○○』はその作品を収録している本の書名です。

現代作家が
描く和製ホラー
イマドキの恐怖を
たっぷり味わえる



「ヒトモドキ」 有川浩／作

新潮社 『Story Seller 2』より
同じ人間とは思えない、絶対に関わりたくない伯母と同居することに。自分の身にも起こりうるのが怖い。

「踊り場の花子」 辻村深月／作

角川書店 『ふちなしのかがみ』より
「この学校の花子さんは、階段に住んでいます」…。
トイレの花子さんを元ネタにした、スリリングな恐怖譚。

「ヒカレル」 乾ルカ／作

東京創元社 『メグル』より
遺体と一晩手をつなぐ奇妙なアルバイト。死者が甦って生者を道連れにするのを防ぐためだというのが…。

アンソロジー

いろんな作者の作品を1冊にまとめたものは、アンソロジーとよばれる。怖い話をテーマにしたアンソロジーも数多く、古今東西の怪異譚を集めた『ホラーセレクション』全10巻（赤木かん子／編、ポプラ社）などがある。

コ
ウ
イ
S
F
はたして荒唐無稽か？

ごく短い怪談

「人類最後の男が部屋にいた。ドアをノックする音がした」
有名な話で、ノックした者の正体については、SF的な解釈が可能です。いろいろ考えてみよう。



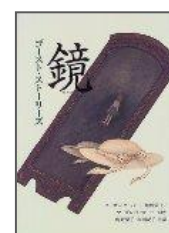
「受験日」 スレッサー／作

早川書房 『夫と妻に捧げる犯罪』より
12歳になると、子どもたちは試験を受けなければならない。何のために？ オチの意味をよく考えるとゾッとする。

「お助け」 筒井康隆／作

福音館書店 『秒読み』より
特殊な訓練により、時間感覚が狂った男。わずか1分が何時間にも感じるようになる。彼に訪れた結末は—？

ホ
ラ
ー
・
ア
ラ
カ
ル
ト
逃がしはしない



「使者」 ブラッドベリ／作

東京創元社 『10月はたそがれの国』より
病気で寝ている少年のもとに、犬がお客を連れてきてくれる。筋立てはシンプル、でも静かで抒情的な雰囲気バツグン。

「首すじにおかれる指」 マーヒー／作

偕成社 『鏡 ゴースト・ストーリーズ』より
「散歩のときに、手で首をなでるんだよ。ぼく、あれがいやなんだ」…。少しずつ追いつめられてゆく中盤の描写がゾクゾクする。

怖い本を集めたブックリストを作りました。その中には短編集もあるので、短くて怖い話を読みたい人は、そちらもぜひ見てみてね。



じんこうひょうれいこねこ
人工憑霊猫

あだしのりん
化野 麟/著 講談社

学園の図書館に封印されていた本。それは、鬼神を生み出す鍵となる。鬼神の力を借りて世界を覆そうとする「有鬼派」。一方、司書として本を守ろうとする小夜子にも黒猫が憑き…!

ふぐるまようび
文車妖妃のこと

「人工憑霊猫」シリーズでは古書店の娘に使役されて文字を媒介に物体を自在に操り、映画「ゲゲゲの鬼太郎 千年呪い歌」では妖怪図書館の司書を務めるなど、本に縁の怪としてよく登場する。

「文車」は寺院で本などを運ぶために使われた箱車であり、文車妖妃はその付喪神であるとも、中の手紙の執念が妖怪化したものであるとも言われている。

ゴーストハント1 旧校舍怪談

小野不由美/著
メディアファクトリー

うちの高校の旧校舎は、取り壊そうとすると必ず事故が起こると言われている。そこに調査にやってきたのは、ちょっとナル入ってる美少年と、バラエティ豊かな謎い屋さんたち。…って、張り合っていないでなんとかしてよ! なんか怪現象起こってるんですけど!?



うげつ
兩月物語

[上田秋成/作] ポプラ社

菊が咲くころの再会を誓い、別れた親友たち。だが、約束の日が来ても友は戻ってこなかった。男が諦めかけたころ、ようやく友は現れた。影のように、ひっそりと。「菊花の約(ちぎり)」怖ろしさの中に人の思いの切なさが漂う小説集。



図説妖怪画の系譜

兵庫県立歴史博物館/編
河出書房新社

夜が真の暗闇であった時代、妖怪は恐怖であった。しかし、人々は描くことで妖怪を暮らしに取り入れ、親しみを強めていった。室町時代の絵巻物から現代の大人気コミックまで、視覚化された妖怪の歴史を辿る。



水木しげるの遠野物語

柳田国男/原作 小学館
河童、雪女、天狗、座敷わらし…。遠野には豊かな伝承が息づいている。明治時代に文語体で書かれた原作を読むと、また違った世界観が楽しめる。



ほうかご百物語

峰守ひろかず/[著]
京極しん/[イラスト]

アスキー・メディアワークス(電撃文庫)
イタチさんはどこまでも強くかわいく、白塚真一はどこまでも天然たらしで、経島先輩の妖怪うんちくはどこまでも果てなく続く。美術部?なメンバーが学校に出没する妖怪たちと時に激しく時にはのぼの対決してます。



国際日本文化

研究センターのこと

国際日本文化研究センターのHP (<http://www.nichibun.ac.jp/>)では、妖怪の画像や伝承のデータベースが公開されている。

「怪異・妖怪画像データベース」では、しぐさやもちものなどの特徴から検索することもでき、妖怪の名前を知らない人にもおすすめです。

新刊紹介

New Arrivals



『1、2、3ですぐかあイラスト』 イシグロフミカ/著 学研教育出版

①輪郭を描く②目鼻口を描く③髪を描く

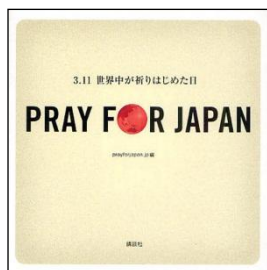
このたった3ステップでかわいい人の絵が描けちゃう！！
他にもいろんな絵を3ステップで描けるようになっている
本なんです。文化祭のクラス展示を絵入りチラシでアピ
ールしようと考えてるあなたには心強い一冊です。(む)



『PRAY FOR JAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』

prayforjapan.jp/編 講談社

大震災に見舞われた日本に向けて、twitterなどを通して
世界じゅうから寄せられたメッセージ、そして日本の若
い人たちの強くまっすぐな思い。日本のよさ、絆の大切
さ、人の心の温かさ……が千で泣ける。(生)



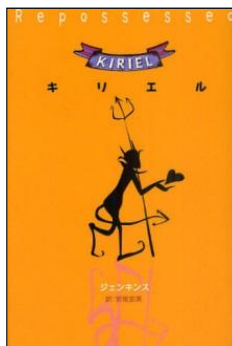
『帰ってきた海馬が耳から駆けてゆく』 菅野彰/著 新書館

帰ってきてうれしい！猫と暮らす酒飲み作家の日々を
つづる爆笑エッセイ。大人ってばかだ！！楽しい！！
の一言。(弓)



『快晴フライング』 古内一絵/著 ポプラ社

主将がいなくなり、廃部寸前に追い込まれた弓が丘第一中学校
水泳部。三年の龍一は、なんとか立て直そうとするものも、残
ったのは芸人に、アニヲタに、水中歩行部員でー？笑いと感動
を呼ぶ青春部活小説！(忍)



『キリエル』 ジェンキンス/著 あかね書房

おれは人間の体を手に入れた。墮天使としての仕事なん
て、もううんざりだからな。じきに神に連れ戻されるだろ
う。だが、その前にやっておきたいことがあるんだ。(夜)

『世界一敷居が低い最新医学教室』 瀬名秀明/著 ポプラ社

ミトコンドリア恋愛占い？パラサイトヒューマン？小説か
映画の中の世界だと思ふようなことが現実には？
ちゃんと医学を下敷きに、こんな未来を予測してみました。
研究するのは、もしかしてあなたかも。(弓)



『切手であそぶ絵封筒』 ニシダシヤ/著 アスペクト

絵封筒とは絵を描いた封筒のこと。例えば80円切手の
キジバトを使って。封筒の余白に足を足して、うしろ
に横線を3本くらい引いたら走るキジバトの出来上
がり。必要なのは絵心じゃなくて、切手と少しのア
イディアだけさ。(mt)

『僕は、そして僕たちはどう生きるか』

梨木香歩/著 理論社

「泣いたら、だめだ。考え続けられなくなるから」
苦しいこと、納得できないこと、痛いことがあっても、
考えるのをやめちゃいけない。人が生きるために。
自分が生きるために。いっしょに、生きていく
ために。(弓)

